のミニエチュア・ゴルフ・リンク

運動や娯樂の実施を行く画際都市上海に

「京城特電」日報 「京城特電」日報 「京城特電」日報 「アルビン総領

の出張所位のものであるさ思ふの出張所位のものであるは各汽船會紅大中に引揚げ殘るは各汽船會紅大中に引揚げ殘るは各汽船會紅大中に引揚げ殘るは各汽船會紅

經濟聯盟の

排外運

怠業

0

(数時同以は自分は光紫楽名氏に對する同様の繰り並つたので を出きなかつた)

満洲の飛行

寄託拒絕

獨政府が通

を割さ「私の先輩の覧」

◆…そして人の心に沁み入るやう な人懐臓に参謀さして臍々さし て梨名賦長のため辯論につさめ たものだつた、終果地名職をしてさめ たものだった、終果地名職をは かましい形の元素人だがその をは が続け込んであるのを含まれな

はそのうちにない。勝さんの「これに反影するものは仇敵だしより」それに反影するものは仇敵だしより

型厂

支那を英米佛和この出権交渉は

浦鹽在留邦人の

株式取引所課化学

露支交涉五日再開

支那側專門委員會設置

かない。

佛內閣信

、大正十五年法律第二十 四號中改正法律 、日動車交通事業法 、自動車交通事業法

を委員會が中心となつて二日午前 氏の來滿を機さし滿靈液雙燃料調 なる九大数響・工學解土短廳一雄 なる九大数響・工學解土短廳一雄 旅館 従業員 に 挨拶 旅館 従業員 に 挨拶

大牛は引揚やう

能支正式突接は膨々モスクワにて莫、カラハン駅全艦のもこに五日から朦朧するに決定した模様であれが、東北政務委員會ではこのために特別緊哮息門委員會を設け最高が議に講派して來る莫全艦の交が、東北政務委員會ではこのために特別緊哮息門委員會を設け最高が議に講派して來る莫全艦の交易が、東北政務委員會ではこのために特別緊哮息門委員會を設け最高が議に講派して來る莫全艦の交易が表現の交易を表現した。

なは議會は

残るのは船會社の出

部は次の如く養表した

がある、最近世人一部には對目で逃に関して種々流言を放つ者がこれは一種の錯誤的見解で中がこれは一種の錯誤的見解で中がこれは一種の錯誤的見解で中がこれは一種の錯誤的見解で中がこれは一種の錯誤的見解で中がこれは一種の錯誤的見解で中

複合ともなずか

日

對日交渉や平等

用京外交部の發表

正副議長から調査研究を提唱

今議會に鑑

み具體化

動に對する批准書

税の減税獨議等に関する租

警業收益稅法中改正法

2000 蛇角

職人自然無効され でこの通伝の結果。 でして大部分の園は

織物消費稅法中改正法 砂糖消費稅法中改正法

安藤博士講演

埠頭事務所第一埠頭主任な命す 埠頭事務所第一埠頭主任な命す

らしいつ

の制度改正

一日附で公布

・ロンドン海軍職工整理に関 に伴ふ海軍職工整理に関 に伴ふ海軍職工整理に関

約百名合格決定

吉成製版

9 日二 月四

撤廢

日本の主張を容れず 日支法權交涉口物別

本も諒解することであらう

見玉總監の

辭職要求

| で決定の段定、奥監鵬さ一時合せた

三制整理の目的

命す。 最ケ浦ヤマトホテル支配人を 三好 重以

滿鐵辭令〇日附社報)

北滿各地黨部

製鋼所運動經過

同、長春ヤマトホテル支配人業治 高、奉天ヤマトホテル支配人を命ず 薬旅館支配人筑紫館支配人を命ず 工業千代吉 ・ 長春ヤマトホテル支配人来二

機務部人事課長参与中西敏憲不在

計畫部次長参手 向坊盛一郎 中事務取扱を命す 中事務取扱を命す 地方部県務課を事出所耕耘不在

願に依り本職を発す

秩父因太郎

洲屋旅館支配人を命す

仙石總裁は十日位面會不能

財源捻出に非ず

陸軍の整理は困難

職所さてる地域能無保の帰、突潰纏まりラムアソン公使は突潰職若を政府に報告も裏に眺今を吹ぐべき流して相手にせず喧嘩の邀戯に見ず物源れさなった。なほ英支突激は上海を湿電膨慢に延氏は日本が條約滿期間さの改前から無條件撤廢の一本槍で日本側の主張を開電を選して時間、日子後四時王正延氏は含見し一時間代に取り選権突衝を停したが王 一特別法廷

四國間には諒解成る 際され愛るは地域的智保さなれる の三頭目は四國側腰少せるものさ 王正廷氏法權交涉經過報告

の如きがそれで隣でて所謂特別 る は歌音の歌声がでれて、一句では「一句では、一句では、 一句では、 一句で

東京二日登 奥然内にては今日 ・ で見玉朝鮮政府は ・ での ・ で見玉朝鮮政府は ・ での ・ で見玉朝鮮政府は ・ での ・ でしまい ・ での ・ でしまい ・ での ・ でい ・ 與黨少壯派進言

政府與黨協議會

三大整理の意見交換

諸法律

昭和製鋼所州内設置運動のため上東市役所宛左の電報があった、三十日報知夕刊記事は間違なり、總裁の病氣午後十日位面會出來の

恩田上京委員の報告

加世田氏の報告 常方面意見を綜合判斷すれば州 と特黒關税を認めらるれば新 を機動に非ず、特黒關稅に全力 を鑑され度と

により決定する により決定する にまり決定する 一部の報告電報を同會に寄せたので 音の報告電報を同會に寄せたので 音の報告電報を同會に寄せたので 同、五龍背五龍閣支配人な命す 鐵道都貨 遠藤貞次郎 棒原 秀次 同、扶桑館支配人を命ず、天、家・秀 奉天運,輪事務所長。 報課技師運 長心命す

鐵 部 貨物課 要事 森下知次郎 事務を命ず 本で知次郎 員 稍谷好太郎 ▲川島富丸氏(木社編輯局員) 母 堂病氣危馬のため二日上り旅客 整病氣危馬のため二日上り旅客 機にて郷里長崎市本五島町へ 欄にて郷里長崎市本五島町へ 機にて郷里長崎市本五島町へ 一日市 内各關係方面を腰訪 一日市内各關係方面を腰訪 一日市 内各關係方面を腰訪 一日市 一大長磯部化學課長) 二日朝着急行にて來連 一十二日入港長春丸にて除任 一十二日入港長春丸にて除任 一十二日入港長春丸にて除任

▲ 岡本誠氏 (海務局長) 事務打合連

地方部學務課事務を判託す

自宅療法 無料

地質調查所長無滿蒙資源馆長技師地質調查所長無滿蒙資源館長技師

ラ灯目オートグートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグイル・カートグル・カートケートグル・カートグル・カートグル・カートグル・カートグル・カート (カタログ送星) 信

造

葉 湯浅蓄電池製造株式會社

とない。 連載することは社告の通りであるが、それに就いて長谷地蜒是 をが、それに就いて長谷地蜒是 るが、それに就いて長谷地蜒是 であるが、それに就いて長谷地蜒是 であるが、それに就いて長谷地蜒是 長谷川如是閑氏 手紙からの思出

0

自分さ一緒にやはり編輯小僧にの假愛ではあるが、贈目時代は面縁更単さいへば今には一流 皆にするどは非然的なやり方「そんな影衝的題材のことで とた小説を書いて問題になり

抗議を申し込んで叱 如是院氏、計量の素川氏に 今にして

氏脈を訪り御馳走になり、 普読 何年振りかで表年國校処郎に さひやかしたものだ。

の路を歩いてゐる。(竹公)

「僕が先きに手を出したのは一様が先きに手を出したのは、これですが、の君が失いですが、の君が失いのです」

「大山君、君は怒つてゐる時でもぶら下げるんだれ、そうではいさ怒つてゐるのか、ゐないのかわからないば」、そう

・ 窓の態音になるなんで極くして決して懐らない人で、大衆 して決して慎らない人で、大衆 0

新郷子の濠江見下ろして二人は

「君のこの家は雨が降るこもるだらう」「こんな安建築がやないよ」「これながらうご思ふが……」「京橋紙の家だから雨もりが「京橋紙の家だから雨もりが

主義が戦議の戦目だから続して属が新市長さしてこれを如何に虚散したが、張原館氏

師團長會議

并上藏相靜養

泉に輝養ら六日降京の鎌定である 皆げたので二日より併豆対館の鑑 の事務及年度末の郷務も一股液を の事務及年度末の郷務も一股液を に性ふ鐵道部主性級の異動は一日 の社報により四月一日階を以で正 式養表になったが同日養表中の主 なるものなあぐれば左の如くであ

配人な命で、大連ヤマトホテル支 事務員を命ず、旅館事務所庶務係 『山海開特電二日報』前海島製造、 を取る英山村に繋ボし呼が極く三支里標 完成した、高地郷のの戦域しが極く三支里標 でれたがたり飲料水が不足か告げ でれたがたり飲料水が不足か告げ で取る英山村に繋ボし吸水機が備。

事獻温島築港工

カラヤ 従業員を集めて接換する所

満鐵の人事異動 旅館關係人事に伴ふ

集募徒生

東込べし 山口

る」で何處からかそ人な壁が出る 情難や適りに燃でな酸感に監督す 情難や適りに燃でなるのだ、今後 10中我々も大いに心配申上げて居 整際外根の西歐寺お詣り「臨時 総合の上なら遠慮ならに飛ばう。 た。日米戦争は満洲からさは鎌電し するこ日米殿野が起って操電し からといいのではできます。 もう五年 なせんでしたが、御自 化は誰れがするのやら 威權の界誌雑るけ於に鮮滿

身でさういはれて見るさそんな。

東桐箪笥 東郷郷郷 カンノ家具店

廣 長融 五十日 行發日 回 町女博連大 所行發 番八六三七·番八四〇七電 錢五十二金 部 錢十五金 月ケー



い、必ずよくなります。 か、必ずよくなります。 か、必ずよくなります。 か、必ずよくなります。 か、必ずよくなります。 から、安心して、河内の震力療法さして有名。 はになり、全様に強くので、河内の震力療法さして有名。 はい、イギリン・を観さ共に下る。 があり、全様になり、上便さ共に下る。 があり、全様になり、上便さ共に下る。 があり、定様に変して、 がから、安心して、 がのの為無料でお教へします。 がから、 はなり、 がから、 ないして、 がから、 をいして、 がから、 をいして、 がから、 をいして、 がから、 をいして、 がから、 をいして、 がから、 をいして、 がから、 をいる。 がいる。 がい。 がいる。 がい。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。

大連信濃町

高等商業學校

御参内の

邇宮邦英王殿下

宿泊料値下

還元を機に近く

電車京一日後)來5四月七日追 電車では軍艦五十齢を梅潤電 ・高后職座下傳來概に就 ・高后職座下傳來概に就

いかんかい

しい的熱戦を演じるであらう、

華かなシー

大連實業團

手を握つて合同

柳樹屯線ご大孤山線 その裏面には退職船長哀話

【東京特電二日級】在京中の松山 本紙寄稿家 昨夜東京會館

社 対 大人まで日支人 大人まで日支人 で 大人まで日支人 の 差別な (夢中 に なって 待ちか 日本 田 中 日 中 日 女人 明日の日支凧揚競技 がた下げやうさ云ふ長崎原、大が 八尺に五尺の大風を始め間投で溜 八尺に五尺の大風を始め間投で溜 では美濃総八十枚張りや、

本東京、野畑、神奈ル、郷海から神 郷まで、祭地奈徽のお園白帳の 郷まで、祭地奈徽のお園白帳の 一時より数張りの長

日除版、これはいづれしてり発明を基めれて、その間なるものは支那に対して、その間なるものは支那に

里きをなしてる

マート・テルの治療性は他にかしてか過ぎるこの非難が高多いが をれが含めに一般旅行客は無る他の旅館な選ぶ焼きがありヤマト ・ に早感者治療性値下を實行する意味にて近く驚事者の協議を行ふ であるが満級のが針さしては料金の値下げに使って洋式まテル のでであるが満級のが針さしては料金の値下げに使って洋式まテル のでではまテルの過元を養育 に早感者治療性性値にからない。満頭ではまテルの過元を養育 に早感者治療性性値にからてが、満頭ではまテルの過元を養育 に早感者治療性性値にからては料金の値下げに使って洋式まテル 民衆化を實現するにあるさ 競爭航路が

比律賓から

へ日地飲味眠い合は多 空巢覘

でで、管理をよった「である。 変帯の施錠をよった「である。」である。 変帯の施錠をよった「である。」である。 でで、では、できない。 でで、できない。 でで、できない。 できない。 保では素をの別なく防犯機器に努 に乗の季節さなり、これから空果 午後二時までの間に市内土佐町四めてゐる矢焼、一日午前九時から が事が慰識したが聖人は日本人ら が事が慰識したが聖人は日本人ら

先づ

借金を返せ

常局が三業組合に警告

明同校教師職長久氏のオーバー一般人捜査中 での間に大連一中食堂に販売び入 は一日午後零時より同二時までの 中内黄金町卅一番地吉修傳一方で

お國自慢

留守中金属機中時間(時價四十圓) 市内新起街卅一番地子交易方では

をはれてるながら明 に一葉九千五百四 質に一萬九千五百四 で大連署保 に一萬九千五百四 で大連署保 で大連署保

少を來してたり緊
静地なきから の如きも前年度より約四千圓の滅 の如きも前年度より約四千圓の滅 とは在井巻長を訪び極々職組した。 とかして課業機會は二日午後四時 から微月で職職されるが脱穀通り から微月で職職されるが脱穀通り から微月で職職されるが脱穀通り 電干渉的態度に出るもの

四の風景一時晴 天氣除就

叉とな 館ノ目傘

一足 六十歲

流行事践各種超行更

内 展 物 法 連 町 三 「 日

町五七二八

い此の安値 一日より全商品を思ひ切り安く費ます

四月 集バテーベビー 日より七日まで 滿洲 の映寫に經驗ある婦人を望む 日 (本人來談) 部

月田保安課長語る

ンスホール行脚から歸つた

ちさけて養誠に花を吹かせてい

下さい」で翻覧大連北南において 下さい」で翻覧大連北南において で独する暫単成(ま)取落そのま、海中 に強か失った螺を捜査するさ級父 で称する暫単成(ま)は一日常地海 でのででである。

2、 な家庭研究所でなったの

海中の男捜し

満日春の百彩會

準備の都合上十日から開催

3

伯父殺し犯人に

慌が伏在するもので

涙ある判決

懲役二年八ケ月

内東京倉館において今回本紙に定

微酸一つごうにか、る殺人事性の概 被告の心事には同信父になる市内西通二丁目標識品 歌し恭樂長は海殿

ない といっとも

意氣に燃える

の實滿野球戦

神功統路さらての補助金を本年を宇田融會が今日迄認められてるた である。しかるにこの配者の合同である。しかるにこの配者の合同 市川廃株、三宅やす子 一察館から整徴六年を栽積されたに際土、長谷川姫忠敞、 院長島鑾蠅長儷敞延、前興高井樹 選手百八 ピックト

大會

-名派遣

田在評論、政会がに理事會を開きてな評論、政会がに理事會を開き、日本語の件 ピツク講演會組織會長 經費廿五萬圓を體育協會で決定

作業は陸難を変してある

中學生遭難す 佐渡金北山

究所で衣食展 日出町家庭研

ひ横行

なく配行して来た潔華洋行底質の

顧客本位 山田商店狀定部 株式s卸取引は 出田

お 4. 滿洲學祭申込所

生,玉子 摩洋行 教品町三河屋

色目は、オレンデ、若薬 機模様、烈は稍大きめの

ル

河又 又 電話、四四八六番 電話九五〇八番

高級便箋一冊 及は縫針美麗袋入賣組 壹本御買上毎に

三越特製化粧クリーム 一個

変薄口 小樽壹樽御買上毎に 砂極上 小樽壺樽御買上毎に 三越特製化粧クリーム 三越特製化粧クリーム

日日まよ てり 大連市イワキ町

四月五一

た、この者は智光院衛祖の西野奥ため密告され大連署に取押へられ 春のお仕度は今! 淸新な良品益々充實

三日間衣食に関 春季清潔檢查

婦人も青年も が大統計を開催です。 満天下の が大統計を関数では、下さい でと知識、下さい が大統計を関数であります。 が大統計を関数であります。 ◆廿日本署直轄◆廿一日神社前 東安街各派出所管内◆廿二日水源

モヒ中毒の女 各所で盗む 松林見學團

粹の

ワイシャツ
共生地カラー罩カフス、カツター等スマートない。

南大正通り六四牌選繁八氏がより の安瀬・敷鉱を部取した州市内沙 の安瀬・敷鉱を部取した州市内沙 では、大田・一日午後二時ころ市内敷織衛 では、大田・一日午後二時ころ市内敷織衛 ミニキ(***)は去る三月廿日ごろ市 勝島縣吳市生れ驚時住所不定機井 総い変数を強えつゝも一同元無に離かに在職に瀕れ行く鳥山の跡にをしてる対家職も波 出養し鰹しい世國見學の海に就い ・ て以来十七日職谷地の名所古職が ・ て以来十七日職谷地の名所古職が ・ では、 ・

蒐を

シックな模様が新勢力。 豪放な斜紋。

商品券を

四平街に强盗

花見ショール

騙り損人 放浪者の惡事

の前まで持つて来い」さの住職が五十国が三枚を指律可能が一個町山下だる時間で「艦町山下だる」という。

小地震より市内谷野へ捜査験を出てまる廿六日外出したま、歸宅せてはまる廿六日外出したま、歸宅せてはないかと一日 廿番地小川清長女常盤橋カフエー 女給家出

お買物は 供 服

本春の斬新な流行型。

大連市常陸町五七

横度稚幼場廣西

松乃盛さしみ醤油一升壜詰

多極上以**薄**口壹升場詰壹本

中折帽子の場で挽めが全盛。型は

第六三九二番

春衣全品大賣出

以の英

部服吳店便百東遼

關東州の水産業

水產試驗場調查

事業成績の概要

がでは、然し此のトロールを出する。 が作れたが同郷では漢底水温六度七 分においても独遊行し得る事を能 が作れ、然し此のトロールを大きにせら

正 院は左記の如く滅滅を形と前途なるの能さなつてゐるが最近驚地寒島の時に入つた「微歌によれば秦皇島の時に

0

. 6

は和人漁業の大宗にして之が消長 は本州漁業の大宗にして之が消長 は本州漁業の戦に大なる整響へ及 である、他して之が激長 が表達し

山東高館北海より登州水道及長山一するものにして其職機く職然たる理在送の調査の結果に使れば眺は「水道の南方が龍口神産脱場に移動

開平炭の

輸送激減

貯炭も

遼寧の防穀令

當業者は無關心

市場相場も無影響

が養せられたにせる市場の相場に は何等の緊
響もなく
監業者が
で
は何等の緊
響もなく
監業者が
で
に
が
が
を
は
に
過ご
し
居り
之
な

(日)

水道料金は高い

はな

個人の支拂は少い

大連家畜市場は

五人然で報本には昨年度に五人然で報本に下流三些地方の大豆と一般で報本に下流三些地方の大豆と一般で報本には昨年度に 河豆混保 | カードー 調査依頼

・ 腰へてるが結木 失脈店の二階ではあって如何にし人の出入がだけあって如何にし人の出入がだけあって如何にし人の出入が

ないので感じがよい。 るいので感じがよい。 田理事に「顔立後漢三年の御感 概は」で撃れるこ感慨器をうに ボッリノと語る。

時代ですよ、保分小質繁製の吹きな得ましたが、また/ (修製を)であるため、売びに大連なきな得ましたが、また/ (修製を)

こさによってのみ日

を変し、 をで、 マ…四五十巻もあらうか、だゞつ 酸い部屋の一隅には谷縁部最の 見本が眺郊してあり機器間は配 立でもつらへるさいつた調子で 立でもつらへるさいつた調子で

京城特電二日發』東洋技術會社 では四月一日解を以て課長、支店 を 支配人以下社員の大奏動を行った では四月一日解を以て課長、支店 大連支店支配人を命す 原島出張所支配人を命す 原島出張所支配人を命す 原島出張所支配人を命す 原島出張所支配人を命す 新鮮大田支店支配人を命ず 東京本店 監査課長 足立 利久 本天支店 立配人を命ず 東京本店 監査課長 足立 利久 本天支店 立配人を命ず 本天支店 立配人を命ず 本天支店 立配人を命ず 本天支店 立配人を命ず 東洋拓殖の異動

愈よ正式に申請

設立認可あり次第

假市場を設け開始

今年の見本市は 出品が甚だ多い

を帯びて内地へ出張中であった滿 氏は二日午前八時都別用をかれて見本市打合せの用務 洲輪又艦合職合電理 第三會場も必要だ 神成輸組聯合理事長歸連談

ちれ続う邦職株に衛地艦に手續き することになつた 【奉天電話】 電域は大連及安東の各海関を訪問 二時より電域所會員を接じ、會域 無談部終する處かあつたが、楽園 より心露評像に對する處置に報告 には差程不都合が無い機に見受け した後、通関上の心得に就き配明 には差程不都合が無い機に見受け した後、通関上の心得に就き配明 には差程不都合が無い機に見受け した後、通関上の心得に就き配明

海關の不當評價

手落は荷主側に

奉天商議で對策考究

わさ云ふ識になる

況

大はは、関連は全く性郷の炭酸で近極に 他然を近って居る 全様に、関連は全く性郷の炭酸で、大豆に離する で、一般など、して関連は全く性郷の炭酸で、大豆に動するには、で、一般など、して、一般など、大豆に動するが、一般など、大豆に動するに、大豆に動きる。 これが、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、そのか味に、

でも五月に避入れば質出すものさでも五月に避入れば質出すものされても五月に避入れば質出すものされて動高は十萬四千枚、操業工場四十年、三井三菱蟹年六十里で居里の手合であった▲全日の豆粕は一萬四千枚、操業工場四十大里では出る。

市場。 電報

特價品澤山……… 月月 五一 漁速町 今 の唯 B B あ乗 設 り合 0 備あり

奥地市況

手形交換(1) 日) 金(QX枚)(公司)克司 金(QX枚)(公司)克司

出来高 五二軍 出来高 八手 出来高 八十一中 出来高 八手 出来高 八手

滿洲關係の主なる者

小田氏は本店勤務

中澤

では、四九三二) - 二五 で報 100三十 - 二五 で繋 100三十 - 二五 で 100三十 - 二 で 100

率天支。店副支配人を命す。武石

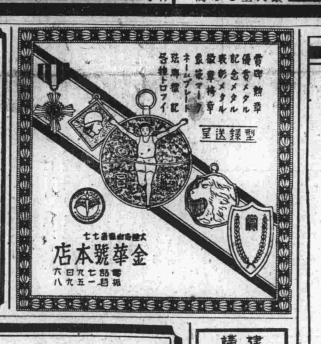
滿 鐵 株 (保合) ▲東短則場 滿沒新株 二十五四三十錢 本次與現物

로 본 물질 쇼 11 [경기용장]]

大連 輸組

或る日の復田理事





櫻井內

科醫院

范宗屯、吴春、吉林、温顺、本汉湖、安東、樊隆街、公主街

壹千 大連市伊勢町六十九番 满

建築、設計一監殿回 **構造-計算-鑑定**

宗像建築事努所

大連市連鎖商店街広小路



く明るく電気がお徳な経済電球

高高石商 石商

電話がおりいき

大学は



萬泉刄物店

宗像主

學生參考書

西園寺公》安心

東京二日登】天泉陛下には来る 七日進々御歌朝の画覧選編皇帝陛 下を始め奉り御一谷に跡ら日選翰 下を始め奉り御一谷に跡ら日選翰 下を始め奉り御一谷に跡ら日選翰 小を記るの起く各 りまましていちたのなく各

自相健康恢復に

した熱原外様は二日午前九時や坐一在低中の酸公の配置を慇懃したる【奥津二日餐】水口屋旅館に一街一意政に西國寺公を訪問し色様代事

関公訪問の幣原外相語る

の施政の要請か誤り

他種々意見の交換を行って後

M

首相は病氣で

面會出來り

藏相から六日と回答

の指示をなし次で久原幹事長よ

の内外共に東大時局に際し我 の内外共に東大時局に際し我 が電長、冬碧》

久願新幹事長、冬總務山本政調會 三時より四谷南町の天警機振歌に 三時より四谷南町の天警機振歌に 「東京二日後」 政友會は二日午後

政府に會見な求め

嚴重に糺弾する

政友會最高幹部會

時局對策協議

移民割當率

ア諸國に

日本人移民を少數だけ許す

ジ下院議員意見發表

此の命令に依り驚地震部では慰燃抑散に日佛和界風吹につき真體的民衆運動を起すべく間避中である時回収につき撃國一致的政府支持運動を起し政府ならて所期の目的を實徹せらむる樣努力され度し時回収につき撃國一致的政府支持運動を起し政府ならて所期の目的を實徹せらむる樣努力され度した權問題に關と關係列國は何れも漸進的散廢を主張せるも國民政府は超くまで無條件即時散廢を原法權問題に關と關係列國は何れも漸進的散廢を主張せるも國民政府は超くまで無條件即時散廢を原

「横口二日景」・輸開する處に依れば外交部長王正廷氏は三月二十九日附全國各省黨部に對し左の総合

全支各省黨部に對して

王外交部長が

で許さなくなり、四頭政 で許さなくなり、四頭政 によるの子に関って来た。軍 によるの外に立つ感があれたでは、三者は克く にてくら時代はその獨 になって来た。軍

満洲に於ける三頭政治の室は近來稍薄らいだ感 頭政治の屋は近來稍薄らいだ感 であっては國を代表したそれぞ であっては國を代表したそれぞ 関東聯で高鐵さの関係

立體的立場で

社

說

流すものと吾人は窃に慶復して し、我が對滿政策上の一進歩な し、我が對滿政策上の一進歩な

關東長官の満然

今後

關東廳官制第

二條の規定に基き

總裁に命令書

鐵道を敷設し

するフランスの反野意見を支持総、億ぜらる音の分で、かくなつたのはフラン 選響に於ける彼さ音の分で、かくなつたのはフラン 選響に於ける彼さ音の分で、かくなったのはフランス雕の は来月代はるべき

る。極端に言ふならば政治する。 一般に日本の政治には政治意 打消すが如きここは避くべ

法令は一つの習慣の結晶であ

氏衆運動の指令 更に外棋は外交問題の郷温を説明 し會觀線二時間等を持念で離京し たが解原外棋は語る 老公は非常に元氣である、老公

租界囘收亡

関 比非子にある滿葉製量部比非子採 、なり去る一日軽影響に地鏡祭をりた。 (職所は微寒観川繋鏡所が鍵輪製産 製行した、とのて探猟に吐ったが、今回いよくこと、先づ した「提供ではなったが、今回いよくことをあるが現在滿鏡が繋铣用に使用する。 たが探査をであるが現在滿鏡が繋铣用に使用する たが探査をの からのであり相當注目を あるが現在滿鏡が繋铣用に使用する たが探査医の輸送に供す可き鐵道敷 は赤だである は赤だである は赤だである

【興津二日發】大磯別莊に静養中 園公を訪問 水野錬太郎氏

今後は厳重なる監督を駅行する趣とであるさいはれ同職においては最

の風滑を缺くに至しるやは寒味わる問題である。 関東殿のこの態度(何なる程度に進度し、配館は、は風清にいつて)居る。要するにこの問題が

開平炭問題

紛糾する

の如しの知られての主なる総物を左の対し、これの主なる総物を左の対している。

京 2年 百三十車 整通大豆 出來不申 型 箱 10三五 10三五 出來高 三萬三千枚 豆 油 一六八五 一六八〇 出來高 一千六百箱 高 聚 三三五〇 三三六〇 出來高 五車 包 米 出來不申

ほんこん丸船客

家本關東長官、同夫人、室田秘 警官、吉和田駿、村田熊三、酒 等官、吉和田駿、村田熊三、酒 野上孝造、今

主力艦は三萬順

備砲は十二

英専門家の軍領

外交問題化する形勢

関し大體左の意味のここな北郷鐵 大平防等の協議の結果看送輸送に 大平防等の協議の結果看送輸送に

成二千四百九圓、金州四萬五千 八百十五圓、韓國店六萬三千百 八百十五圓、韓國店六萬三千百 四十三圓,魏子然四萬一千五百

時來でするに過ぎのさいつてゐる
時來でするに過ぎのさいつてゐる 停頓否定

張景惠長官

遼寧省の

留日學生

百三十九名

內地株弱含

三三八〇

四四八八〇

四四九〇

况(1)

當市弱保合

三六四〇

1、10八七五

一九六〇〇

のさして同

国目を指する事語 にしては恐らく最終 にしては恐らく。 にしては恐らく。 にしては恐らく。 にしては恐らく。 にしては恐らく。 にしては恐らく。 にしては恐らく。 にしては恐らく。 にしている。 にして

の軍事緩騰院長に低ぜられた特別。 の軍事緩騰院長に低ぜられた特別。 風長電機間無氏の進速については 電表ので内外の注意を集めてぬた が、駅氏もいよく決意して近く が、駅氏もいよく決意して近く が、駅氏もいよく決意して近く が、駅氏もいよく決意して近く が、駅氏もいよく決意して近く が、駅氏もいよく決意して近く 参議院長を兼任

にその製政科別数か元せば左の如こ を學校在學中の廿七名を能強に百 三十九名の多数に及んであるが左 のであるが左

一、九一五〇 一、九六〇〇一、九六〇〇 一九二五〇

月 二十九五〇 一三、九五〇 人長春高樂 五九〇〇 五九〇〇 五九〇〇 一三、五〇〇 一三、五〇〇

場電報 2000 五九000 五000 五元000 五元00000 五元0000 五元000 五元000 五元000 五元000 五元000 五元000 五元000 五元000 五元000 五

○定期後場(銀当)

東京特電ニロ整】滿樂業務の現。事項さして關東國の 「東京特電ニロ整】滿樂業務の現。事項さして關東國の 「関東長官に蔣滿州銀消株式會社」提出は一層その 「関東長官に蔣滿州銀消株式會社」提出は一層その 「関東最の認可を取る 「関東國の認可を取る」

正鎌葉の報告書のを要し且つ又名種を要し且つ又名種

製鐵部甘井子採掘所

をりに決定四月一日附浦鐵社駅を以よりに決定四月一日附浦鐵社駅を以よる 道氏は駅定の如く浦鐵消費組合入 な 道氏は駅定の如く浦鐵消費組合入 な

園公ごの會見 顛末を報告

取職の流鐵監管状態は即くさころ によれば決して完全に遂行されて によれば決して完全に遂行されて をらず、動もすれば右の官様が至れて

であらう。微楽 行の態度に出る にあり果して流 の意思通りこ

法人組織にする

滿 **鐵 幹 合** 滿 **鐵 幹 合** 據順中學校雜師 早水 岩雄 麥天高等女學校教諭 平田 義雄

奉天安東の競馬

撫順高等女學校同 神

拓務省で改正案審議

世のではれて居る、決合は一つの 様性さする所より、かくは突然 でのさいはれて居る、決合は一つの を傾く今夏事を點くするの要はない 東等で、その憂酸には他行機がからすれば で、その憂酸には他行機がからすれば で、その憂酸には他行機ががあるさいか見解からすれば で、その憂酸には他行機ががあるされば で、その憂しない。 ではないかさ見られて居るが機があるさら形されて居るが機があるさら形とのであるさら形されて居るが機がある。

-更問題にするとは不可解 不嚴重に勵行 **満鐵側の主張意嚮**

三月中の 三月中の 第二月中の 瀬田人とも減少 輸出人とも減少 輸出人とも減少 大変で変数、三月 かた、1四0

鄭家屯小學校訓導 倉井 盛行 を廣フクミ 豆 粕 二〇三五 二〇二二 出來高 百三十車 整通大豆 出來不申 出來高 百三十車

入江德太郎

あってれば現在移民比率の割常 あってれば現在移民比率の割常 てな許されてゐないアジア諸國 に年百名乃率二百名の移民の入 國心計 - 然も比率な定めるには 日本人移民を僅かに入國せらめ るさ云ふ方法を執ればよいので あるころ、方法を執ればよいので 獨墺關稅問題

東門家につき繁軍な機に関しアーリーテレグラフ紙の艶者が探知しアーリーテレグラフ紙の艶者が探知し 縄費用も多額な要する故イギリ主力艦は現在のは艦型も多く建

で佛國の非難

は、路際局に對し申し送るごろがあった。

上海標金保合を傳へ鈔票も幾らず 標金保合

| (本) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***)

關東廳豫算中の

東引所税 御門所税

風の増加さな

租税の内容

|總額三百五十萬餘圓|

を盛して速かに健康恢復されん

暹羅皇帝御一行に 贈勳御沙汰

地租 は二十一萬六千六百八 たの妲し 所得稅 は百八十二萬八千 一六十國の減少さなり普通所得百分 一六十國の減少さなり普通所得百分 一六十國の減少さなり普通所得百分 一六十四國、同百分の四のもの一萬六 千六百五十四國、超過所得百分の 一六十四國、同百分の四のもの一萬六 十四國、同百分の四のもの一萬六

六千七百九十二六千七百九十二六千七百九十二

日暹親善の思召から

アツテイクル殿下(動一等瑞寶) 皇帝附秘書官ゲイアルヤ、サヴ 同妃殿下(動一等瑞寶章)

市田洋行

軍の響さんの好きは此の 事業の代表者さなりまり センドの選つ金・持つて 全國をかけ難り管際して

Ξ

一種二種は、必ず特長あった。

れた政

震政治の立場から見れ

の既校なこと等々総能に描かれて サエート色彩の濃度なこさ、我園 ウエート色彩の濃度なこさ、我園

って関内にさちこもって、海外をつて、日本ほどい、戯がないさ云

がたには、どんな意味に参へられから鉄を削したと言ふ事は、戦方がたには、どんな意味に参

日本の國際的位置が客観的に向上幸職感を保たうさしても、それで

みないやうにして、主観的にだって関内にさぎこもって、海外

赤色戦線を行く

勝本氏の勢作を讀む

西

一日中(政友)首根の「肥い時に用ゐられた「光風霽、サテは加藤(友)首根

本代理を以て目先の政局を被給して をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこで出むなく間に含せ解の影響が超れて が動きを動むべき展響にあること で大きながら、其の支 をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこで出むなく間に含せ解の態時が優った。 をこではなく間に含せ解の態時が優った。 をこではなく間に含せ解の態時が優った。 をこではなく間に含せ解の態時が優った。 をこではななく間に含せ解の態時が優った。 を表してはなく間に含せ解の態時があること。

ボーツ以外になんちの事実機関がないさレポートする。

少年を紹介し、面して事業

た論じ、ピオニールを通じてソウ とてある。その他、農民の家、誠 してある。その他、農民の家、誠 は原稿料制度に興味をもち、宗教

かも空しばかり愛し主義者になっ た」と云つてゐるに難して勝本氏 は、前型はいかにも自然主義依案 りもく無熱想にズバリさやつては

現的館――松井司法主任の質問 がサラサラご協で聞える。 がサラサラご協で聞える。 でえょの成り。昨夜も戯は可成り できるに繋らて寒色ばんだ鍵から

六

問題し」などといふ言葉が

時育前期に於ける「ロボット大臣」 数されるであらうさ思されるのは 数されるであらうさ思されるのは が現されるであらうさ思されるのは の記憶に残って、おく人口に腧

市 したり、若くは朝野些々たる感慨の行き遠ひから、大切な関事を放けしきに至っては記論の闘争を経過して、ラグビー間には記述の野野を経過して、ラグビー間に保護論會な「発達なり、一選問して、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、今日の野成二天政業は自らって、

◆先日客を窓内して戦隊巡りすべ く脚車屋に馬車賞を聞くこ四個 でいひます、絵り高いこ思び値 切つたら賞金表を取り出して四個で規定だこいひます、客の手 のであるといのます。客の手

でも他下されては如何がですかしても他下されては如何がですかっています、響の手、意の生活程度において繰り高くありませんか、艦廠を織を控くありませんか、艦廠を織を控

くの如き場合は警察に跳って いたがきたい、又馬車番號日 時等を知らせていたがきたい 時等を知らせていたがきたい をして手の下この投書に對して警察さ して手の下こやうがない、支 をけさります、具體的事質を 受けさります、具體的事質を 受けさります、人性の事質を 全く御同感です(旅順警察署 を

「いくら臭雨亭が貴方がたにはいいくら臭雨亭が貴方がたにはいいくら臭雨亭が貴方がたにはいいくら臭雨亭が貴方がたにはいい

「現たちの若へでは、どうしても ない事でせうかられ」 ない事でせうかられ」

警部登場

野に

種

0)

政界

用語

か

物語る政情

内以行十五 迎款書投 すらさは簡中

第五十九議會を顧る

(3)

旅順署長さんに

者

便さもに下落してゐる際他下げ旅順では金でさります、銀貨物

李段 を構成なものが出現し、社會生活がであり、或は特殊ヨリ以上に類似であり、或は特殊ヨリ以上に類に

湿のそれの貧血症狀、そしてブロ 感ぜさせられた。だから日本人にきこさか!カンザンスキイ、タト しか受けてゐない。 女化 と際流しの世界的水準線に達することの遠 は日本がいしろ劣等層なみの提び

中間戦に然て、正記は馬氏の脚関数 ・ 間戦に然て、正記は馬氏の脚関数 ・ に見うけられるから、これはその ・ に見うけられるから、これはその ・ に見うけられるから、これはその ・ に見って見るさき興味が深い、 ・ でで、正記氏が検索して一臓米で

だ」さ、恐らく微音笑を洩ららた が」さ、恐らく微音笑を洩られて見ればを取られていまない。 から 難に 臓つたこ さだらうが で成程言はれて見ればそれも然う

一種であるまり に対する。 になっている。 になる。 になってい。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。

今…一方メウセンドは 室殿費用と称して多数の 金を要求し、それで各所 に家屋を買入れたり、自 に家屋を買入れたり、自 の選の名数にして置い

がらだ、さ氏は影響を繋ぶ園である。 これは個選が宗教を繋ぶ園である。 この彼我の繁願をみるさき、我 もは正宗氏や勝本氏の云ふー「日本人が勢等國融されてゐる」さ云 本人が勢等國融されてゐる」さ云 からた、さ氏は説明してゐる。

四番雌えてから、何かっむした撃が「では又話は遊びますが、銃撃が

が?」
「八時四十分頃でした」
・、郷が答べた。
・さ、郷が答べた。
・さ、郷が答べた。
・さんが何有るので、現が違見が出
して驚きんの後から、主人の室の前送行つたのです」
「その時室の中を見たか?」
る「見ました。果さんが機向きになった。煙草を吸つてぬられたやうです」
「都屋の中の様子は懸つてぬなか

七三

等情 特田順天堂 電三二〇九番 特田順天堂 電三二〇九番

住宅

日二〇一番地 際ハリ炎専門療院

古本

ますか?」 「まるで分りません」 「無難さけ著へられませんか?」

電点の変数になった。 の数大なに乗るになった。 の数大なに乗るになった。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関を変が、 一大機関を変が、 一大機関した。 一大機関を変が、 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関した。 一大機関を変が、 一大機関をできる。 「一大機関をできる。」 「一大性をできる。」 「一大性をでき

聴率な點が残存してゐるのでりら 人からみれば、一般道徳に取つて

産業にみる努力

(10)

回

遊金編録後の實驗が完成 堂々さ公配していふには

す事になってゐたのです

ました。 のですから、室の中は中からのですから、室の中は

電話をかけにドアの外に出る野氣 せん。でも十五分位して、やつさ せん。でも十五分位して、やつさ

聚して関りであらうか。一終一

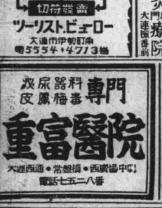
四十分ばかりの間、別院盛つた事

でも部分性い思ひをしました。 けいつも金庫の鍵を決つた所へ取っては又話は遊びますが、お父様

り他人をベカにしたやう の主したが、異さんはい の主したが、異さんはい 「全庫の酸は閉つてぬました」
「全庫の酸は閉つてぬた」
「空庫の酸は閉つてぬた」
「アルでででです。 ででです。 でです。 でです。 でです。 できました。 できました。

フョ

實印の御用命は



-24



洋服類高裝

お



著一時間修繕

婦人 駒一颗町六〇 第1季町六〇

林春 性暴丸炎鍼灸

薬はヒシカワ薬局

チチモミ

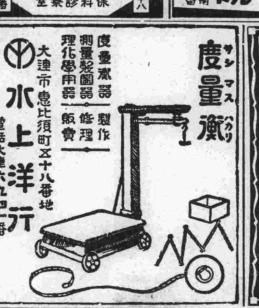
斯 電話四六九二番 二葉町六〇



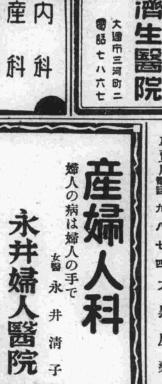








婚人の病は婦人の手で 電話三六六六番



运料前金無料代引廿三錢

病

皮軟梅毒 清海病 中野

赤蘇岛

栾

行樂の最好地滿洲第一の靈泉場 千山登山に家族會に遠足に陽春

満日案内 金 八 拾 钱 金 九 拾 钱 **陸紙** 門札 瀬戸物へ

日降町 さかひや常 新古 陶天電六八四一番 下宿 中勢町九十九番地 東館 電話六八四九番 東館 電話六八四九番

事なも出かさないさし限りません よ。所で、実際等さ激志楽さは日 よ。所で、実際等さ激志楽さは日

宿料 天津 ポーズ 天祭堂

電五二九三番

商品 旁 大連案内社

女中

電の

灣 察電話三六六三番 源 內國附五七 國 西公園附五七 國 西公園附五七 國 西公園附五七

鍼灸

家 斯風呂電話等設備完備完備完備

剛但馬町六番地家等 磐城町十一番地家等

佐志醫院

婦産内 火 科科科

要語セハ六七

湯崗子溫泉 各館共御好次第御申付通如何樣 汽車賃往復三割引 にも簡易安價に勉强致します 團體五割引

定期種痘施行

は直に逐電ー兵犯宗験者は此程中で選び水の解けた器目に投げ込んで中海が大の解けた器目に投げ込んで中海のが大きなが大きなが大きなが大きなが大きなが、

電民多數の出现へを受け元無限盤。 一二ケ年酸低粉ル完全:終へ官民多十三日午後一時より同三時まで俱 をは一日午前五時二十分養殖車にて輸還の は一日午前五時二十分養殖車にて輸還の は一日午前五時二十分養殖車にて輸還の は一日午前五時二十分養殖車にて輸還の は全部接続せられたらと獨二十日 一十日午前五時二十分養殖車にて 一十二十日年前五時二十日 一十日年前五時二十分養殖車に 一十二十日年前五時二十日 一十日年前五時二十日 一十日年前五日十日 一十日年前五十日 一十日年前五日 一十二十日 一十日年前五日 一十二十日 一十十日 一十十十日 一十十日

統剣術大會

新舊駐剳隊交替

廿聯隊は歸還の途に

共産黨の防壓に

何等かの對策を

過般の共産黨事件で

在撫邦人間の輿論

イ行はれたが今脚卒業生は九名に 十一日午後二時から同醫院内に於 清鐵安東醫院の電護婦卒業式は三

代機は院長賞を各々授與された因

留守中に衣類を撒散して放火

寒はれ一名は紫然に見影り内一震勝氏一氏が失妻打連れ同八時

旅順市役所内に 新に財務係設置

艦隊乘組員の

戦跡見學 青訓所入所式 を職帯年職続所第五興入所式は一 を職帯年職続所第五興入所式は一 を職帯年職続所第五興入所式は一 がて繋行されたが本年度に於ける がないます。

驛前販賣所

大 満二ケ年間の駐都任務かでより近く 本る意味ル以て盛宴か鑑す由 なる者を招じ駐側中の職意ル裏する意味ル以て盛宴か鑑す由 九聯隊の別宴

は、 おるが此の総成の火地に 紫紫、粉上郷貨店、梅灘紫、大山、紫山が、 おるが此の総成の火地には なった、又原泉・東西町の、海山が、 かるが此の総成の火地には なった、又原泉・東西町の地域を は 1 大きり (大きり (大きり) 愈一日から開く 新裝成れる十店舗 会部の東道にて二〇三高地以下旅 の窓を明ふさ共に戦機驚時か追想 の窓を明ふさ共に戦機驚時か追想 が歌では渡軍飛校の乗馬郷卿大他

連出し殺害

不振に惱む金州管内

教員異動決定

試驗成績 棉花栽培斷然中止

の通り三十日階を以て養養された小學校並に公學堂の数い異誠は左

りこ 高女敷地決定

黑川氏財務主任に

營口四

驊收入激減

前年の約三分の

常

吉氏は今回の

おおんだ おんだ 郵便物强奪 合計五萬四千三百七十

変更 本成人 は 一二 園四銭に 十八銭の

多少の差にあると関連したなる。 多少の差にあると関連したない。 本に応れて、 本に応れて、 本に応れて、 を を を がら、 ながら、 ながら、

け居るかな知るに足る 観道の第に如何に大な 入が三萬六千百五十圓二錢前年二 二十八錢本年二月分の倉庫收入二月分の同收入十四萬九百七十七圓 八十三圓十九錢前年二月分の同

さして着せしたる花輪三次郎氏は率天總領事館佐藤司法領事の後任 河豆江一十九日三千石 河豆の初出廻

伸びざるため値覧か家! の大きなでの後増加の ができるため値覧かるが、 のできるため値覧があるが、 のできるできるできるが、 のできるできるできるできるできる。 か汽車物の出場り

砂糖及級がは警山市場 して例年際沙さ共に働い るべき響なるに燃口へ るべき響なるに燃口へ るべき響なるに燃口へ 主意の表がある。 への輸売機能に

後任總領事

同校々

起一氏は大正八年に外務省に入り とた支那公使館附一等書記官大権 とた支那公使館附一等書記官大権

新伝統別區署察管理處長王職業氏は三十一日午前八時網天より來低 新陳列館長 黎陳州館長 新味の智 警察管理處長

哈爾濱のホップ 前途は 有望 Ľ

には一面坡の海口敷場ハルピンの脚裏画等において邦人の手によって着手され粉末を帰国されておって着手され粉末を帰国されてねるが、その戦略が窓のため溝織ハルピン事務所動業保蔵門野良造氏は内地に出張中三十日静哈した氏 ドイツ北海道に負けぬ さして好一點であらう

\rightarrow

電天谷小學校の職就美動は四月一部天谷小學校の職就等明の分は左記の通りである春日小學校より轉任の分祭田調等 教事的閣小學へ小池調等 練蘭小學校へ西見調等 解電板小學校へ西見調等 加茂小學校へ西見調等 加茂小學校へ 教専附編へ轉任

取締超過保險契約 々長へ轉任 森口首席訓導 0

0 の募集を開始し事物所は今の戯れて目下谷が蔵の誤解を得て変金と

職員異動

本社旅客誌に軟低の軽大騒→森トが大郎氏は在住中の窓根を踏る際長が仕事をするのではなくて際長さして単にこれた統制すればよいので着任早々は充分に統制ではよいので着任早々は充分に統制を踏る

に列し五日各関係筋を新傷職長服 で事務を報酬ぎ四日職戦の送か宴 が事業を開発し二日後任務の職長 雅園な分離せもめる一茂特別数 可なり磁磁が生する機になり場 でなり磁磁が生する機になり場

氣の毒な一家 に同情金 本紙の記事で

◆鯖江町一七 山田タケョ方袋田 ウメノ長女ウメ子へ一ン三十一日 死亡 に乗り温度無常の製高く一般に借れが氏は公参室在動十三年の長されが氏は公参室在動十三年の長されば、 金州民政署地方情況調査事務機託 虚 元 養

民政署囑託解任

大警口職型公安局に於て敗援ふこれ同處所管の事務は警日縣政府をれ同處所管の事務は警日縣政府をおり際止

、 核擅日廿二日 △區域本署直轄、掏鹿大街第二、南、孫家街中固、金涛子部內△種痘日十六日、檢痘日廿四日、 大街、北三街、民宅、掏鹿大街部內 開原地方事務所昌剛派出 的人種種日十七日、檢痘日廿四日 人名 大街市內 開原地方事務所昌剛派出 日本區域書圖、馬仲河、滿井部

地方事務所鹿務係りに届けられた

船木関東蔵兵隊副官は旅順憲兵分 長を始め重なる向を扱い 大時より僧代社に於てが 大時より僧代社に於てが

際配資土宗布教所の佛教子戦會に ては五日午前十時代より公會堂裏 デニスコートに然て極難除聴育花

自 塔 公主編農業賞者 だより 等三名の下司農 が明島君

学良顧問)は多田 のため一日来選 のため一日来選 のため一日来選 いた当識農業世界 所出身が押島背 所出身が押島背

御用済に付帰れ

済に付鴨託を呼く 景 泳

原

時間は何れる午後一時より三時途内

釋迦降誕祭

◆妹尾少佐へ張學良顧問)

そうですけれごも此の不能無では好い金主も出て来ないそうですよこ返せば「ナアに僕が出してやる 定期種痘施行。 定別種痘を受けられた に然て稀痕並に樹痘を受けられた 廿聯隊の

盛んな歡迎裡に

新駐剳隊到着す

莊嚴なる除幕式

記念碑

來る十一日擧行

士氣旺盛北兵營に

命大連沙河口小學校劃終 命大連沙河口小學校訓經 松

命水師營公學堂勤務

家庭慰安映畵

軍隊捧統)▲撤興▲進魂調奏上 (此間一同敬願)▲議演▲止午現 場に於て祝宴開始 場に於て祝宴開始 場に於て祝宴開始 場に於て祝宴開始 場に於て祝宴開始 場に於て祝宴開始

深刻な不況

か 5

奉

空家殖える一方

を要が整がって来るのが側である。 を要けてか響天市内の空家は増加 するばかりで現在では八百戸さい するばかりで現在では八百戸さい するばかりで現在では八百戸さい な多数に達してゐるその主原因に 現在は八百戸に上る

ク山

場げるものが多数あるためであ 物圏地居住の華人中には銀安ご 内圏地区は成内方面に引 切れ下圏単地又は城内方面に引 切れ下圏単地又は城内方面に引 各小學校の

神山校長に記念品 神山校長に記念品 が長端川本書氏総本員男氏登勘の 所長古川米書氏総本員男氏登勘の 所長古川米書氏総本員男氏登勘の 下に記念品を贈案すること、なっ 下に記念品を贈案すること、なっ たが金銀は二圓以内総明は四日限

本がでもこれ等不没行為を徹底的に対 を認っているる場合となる。他へば五百間位のものを を認めて契約をなしてして、他へば五百間位のものを は、他へば五百間位のものを を認めて契約をなし加入者として、 一保臓の契約を盛に借つてゐる關密上實際他 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不没行為を徹底的に対 でもこれ等不と行為を徹底的に対 を でもこれ等不と行為を徹底的に対 でもこれ等不と行為を徹底的に対 を でもこれ等不と行為を でもこれ等不と できる。 でもこれを できる。 できる。 でもこれを できる。 でもこれを できる。 でもこれを できる。 でもこれを できる。 でもこれを できる。 森下前驛長 在職中咸想

森下氏赴任期

大獸疫研究所長 卅一日

熊岳城

日午後三時から自宅で執行された ・七一ン代は三十一日死去葬儀は一 ・七一ン代は三十一日死去葬儀は一 ・七一とは三十一日死去葬儀は一 ・一とは三十一日死去葬儀は一 ▲多田第十六師順

縁謀長は一日急行で

推選

行で

推選
 ▲鞍山山崎園

少女歌劇團 四日から開演

日本少女歌劇劇一行は四日米朝 で迎へられてゐる 「無で迎へられてゐる 「無で迎へられてゐる

町のニユース

面ル脈訪し就任の挨拶を呼べた新任花輪奉天司法領事は一日各方

閣

万面や歴訪挨拶をならた間東鵬遞信局工務課奉天區主任さ 0

に関する細目協定につき協議する経會は一日午後三時より會議室に整くの選定、特産取引於て開催と組合の選定、特産取引を明明を明明の表別のでは、

左の如く改正された 南列車の登着時間は四月一日から 浦鰕線奉天四平街間の廿七 廿八

とたた記三名を特別社員に推薦と したた記三名を特別社員に推薦と

糖して模能量になって質のたい 協和農園▲急ぐ事にないぼつく 協和農園▲急ぐ事にないぼつく

十六時冊分を十六時廿分に變更十二時十五分、廿七列車率天發 天着十一時十五

大つて來るので、これまた場 を主権陽摩へ廻して仕舞ふのの で上権陽摩へ廻して仕舞ふのの では多天曜に立 によるさ北平では率天曜に立 によるさ北平では率天曜に立 看 | | 日夜范家屯驛に於て廿四號列
を 対し立川奉天署長は夫々金一封を
に 車内で大格側の上遠海活兩巡査に
を 対した率天署

前部車内の匪賊事件の際貧陽した事で見込み、尚書天署から早瀬警部補で見込み、尚奉天署から早瀬警部補で見込み、尚奉天署から早瀬警部補で長春へ向つたのでを称した。

武天皇祭選拜式な懸行する

の四日午後六時半から金龍率で津田を清吉太郎氏、濱藤美大原氏の新鶴鐵を四氏は奈田氏、森田氏、濱藤美大原氏の新鶴鐵を四氏は奈田氏・森田の四日午後六時半から金龍率で津田の四日午後六時半から金龍率で津田 四氏更迭宴

は地位、森田縣長は七日正式着低

位のものよ

まつて、でも続くツーステファかまつて、でも続くツーステファかい。 変態場が近ネオンサイン製品でて入の値もあまりよく見えない。 変貌者が

て。中途中端とはどんなことかつ

とさうなのを提へて早速ネタを取まった一般に頭線を強して能込んまった一般に頭線を強して能込んを見る。 隣つこの草にぬたおとな

ダンス?エ、この頃のお客さん大一時なんてのはずい分野いがよ。

時途の規定だけれざ大地

お終子を二本数べたのが一個、一方のボックスの中では地分成になりかいつたらしい根常年配の激みがはりに変態突がなきとてるをでなった。 女が既定か 見おさならくカフェー學の職を無限の過みであった。 女が既定から 見いれてい、、、、 の女が既定から、

がざつさ四百三十。世はまさに女総時代である。

がざつさ四百三十。世はまさに女総時代である。

がざつさ四百三十。世はまさに女総時代である。

がざつさ四百三十。世はまさに女総時代である。

がざつさ四百三十。世はまさに女総時代である。

がざつさ四百三十。世はまさに女総時代である。

オンペ

Soo Nie

は高主持ち…… であり、夏に其の大部分は女が率 か 主を繋び中には二、三人の子持も が

が帯むわけだ。 寒つ振りに惚れる アで家族の生活を安へる事が出來 アで家族の生活を安へる事が出來

電話三二二〇番

田

だったが外から見るほごだらしな なの では (関連の を)に 戦 (関連の では (関連の を)に 戦 (関連の では (関連の を)に 戦 (関連の に)に など (知 に)に など (知

十中八九迄

◇華やかな女給戦線◇

青い灯、紅い灯に生を求める

浮草のやうな女給

なまめかしい媚もチップのため

りのが二組

報

野神學の報出したあるに指はる視動に對する學務課長の教育改造激

言葉は、学は浩暦に聞えますが、一瞬時に乗り込む地方の人の話す

いが、愛された唯一つの期待は邊際めたころ大して興味も持てな

変の香泉と山の鑑泉とがさむ(へ 海の香泉と山の鑑泉とがさむ(へ

明日は遊覧バスで市内見學

一又族の情趣を深くするものと一つ

今度の異動の餌酸れたズラリと

ここは常に期待されて居た、



ト シテキル ト シテキル

日

ユ

ク

(世六)

次

朗

月

H

ょ

b

七四

日

間

天勝一座無姶以來の名番組プログラム

大レヴュー天勝オンパレ本邦最初の移動式天勝オンパレ

お伽芝居覧

法の繪

塩筆

品

代り祭えしない 州内教員の異動 さて教育界の沈滯は

数音を選ぶる者はあつても吹ぎが はなく、只管長上の機能をそこれ はなく、只管長上の機能をそこれ できる。

れ」乗客の質問のスタ

今日までの州内の教が

車中は離分こんでぬます。が祝!

ほう、寒い近で

寒い所でせう

かつて大懦でに登表された、こん動が年度起のどん語りにぶっと はよっぽご難塵だつたらしいが、 情解による州内小學校教皇の異 を記し、時勢からおいてきばりに されても一向平氣で単調な足踏を では、は外がらおいてきばりに でいているのみ、かく へて來、たさへ題のい、教育者

に其の運用さへよければ恐ちく満れ者が選ばれてゐる等である。始 御の教育界は目 教育外の刷新は単なる教員のや もさく、満洲に來て

た。電車で三條小橋の松屋旅





永森

自動車の騒音に暮れ

への旅から

純米國

ブラン

スウヰック

音

気の利いた

が宿室の部屋に一ばいになることが宿室の部屋に一ばいにないますが、今夜はまあ下樹がでなく明晩あたりから、京人形が宿室の部屋に一ばいになること 世歌上に軽着の陳列音を開き大 連の程は一度にドッご押し寄せ で來る 一般には柔かい土の中 で來る 一般には柔かい土の中 で來る 一般には柔かい土の中 で來る 一般がは、かい土の中 乗四日には天勝が攀々しく 強奏會があり九日十日は軍艦使 で被軍々樂隊の ではなどに色めいて來た▲ 七日は協和會館で被軍々樂隊の のの引擎に大馬力、衝撃

一パツ シカ ノコツテヰナイ タマ ハ テモト ニ モハヤ ブナク ナツタ、ピストル ノ タガ タ サダメテ ウツタ。タ ノドブヱ ニ アタツ アタック・カ

御権班にのじつくりさの着心地良き

洋服は先づ坂本で

大連 坂本洋服店 電話7020番 振替大連2231番

商標 高砂 食料品店にあり ▲内地へ 土産には 御指定を乞ふ

行らる彼女等に自動の

商 根 中 ◆番五六五六電町濃信市連大◆





始開店理代總洲滿 てして念記年周一 たしま始を賣販賦月月ケ十

藏甚子宝 士博學医一六六七電·八七連西連大 篇 · 旬中通車電場広西橋切补機

岳糸、毛織物、

絹物の

洗濯に

開州石鹼株式貿

For All Fine

Laundering

MANCHURIASOAPMFG.C.!III

缺くべ

らざ

る必需品

な

IJ

ルセル石鹼同質の優良品にして使用至って軽便効果極めて絶大な見

車七九六)(番・振替大連三一0九番 「椰等方属但了四個」建設市建大 院醫富:

ಲ (G)

大連伊勢町満銀向

外にす即、ジャス 滑稽大曲技等人

天勝ウルトラ・マ

特別上資

製品

一鐵道山樹、

商を ブラインド・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

計他公物

設

N. S.

要目

一行、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並真鍮鑄物、酸素瓦斯一汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据

成す特に今期入學の特典を延期す本校事業部擴張の爲め運轉手二十名責任付養

授業料

外臺割引 外臺割引

入學日

四月に限り十五日迄の間隨時

大連日華自動車講習所

曜二 | 三四五番

大連機械製作所

鐵門家屋、豆油容器、矮爐類 本店大連市沙河口臺山町 本店大連市沙河口臺山町

〇一番

三井物堂旅會武大連支店

牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾賓 業、造船業及附帶事業、遊送業、

所滿 葉 在出 地所 務

保險並に船舶代理

(日曜金)

古大臣晴季

育美談

有

⊞

춉

松

一伊藤彦造書

歐米は鞣から行詰り

一刻も早く

がよく治つたものだと驚かれる程

齋藤 勝秀 蕨

安東県市場

州南本町南浦碑石里

二浦本

水京町

邱油州州山田川山高東栄宮东

不老若返 慢性胃膓 揚効 る権 書翰 有

ことが健康法であるとして、古來から「腱八分」といふのであ食って再ないので、食は控へ目にして腹一ばい食はず八分目にかといふと、難は長命の鳥である。その鰤の胃袋を見ると八分目に他に長命法として「腹八分」と云ふ諺があるが、之は何から起 一番大切な大気の調節を説く者もなく、論ずる者もないので運動法だの、難学法だの、其他種々の健康法が唱へられて居

みる人は確である。之

男爵船越光之永閣下

子爵清岡長言閣下

男爵 伊江 朝助閣下

震靈 菅原 通敬閣下

西鄉

軍事公議官 陸東大將 南

を臭

京都羅爾斯曼校長 子爵 米 倉 昌 達閣 之间

結核療法の合理化

・ も取の間、よと風邪に罹り、耐気 して、野痛・眩暈、嘔吐を催し、刺 して、野痛・眩暈、嘔吐を催し、刺 して、野痛・眩暈、嘔吐を催し、刺

果が見ん出したので不思議な効目

快。全类类。

治さざるを憂へ

有田栗のお蔭に外ならない。 今、歐素を競み数子と共に意義を は、 一次に変えを懸得したことである。 は **連服七瀬間、診臓を受けて全快と** 楽は驚くほど目に見いて馴れた。 決定された時には遠に言ひ知れぬ

田ドラッグ』

田音松鑑製』

を御買取る

りあ者正小る質をに瓶嚢に並箱嚢 發賣元 末京日本橋通三

本 舖 大阪內本町

手段として左記有田ドラッグ專賣所へ御來談あれあらゆる治療法を講ずるも効なき患者は最後の

婦人の消り湯

は、〇世不能となり、人生最大のの様なものが浮いたりだんだりしば、〇世不能となり、人生最大のの様なものが浮いたりだんだりしば、〇世不能となり、人生最大のの様なものが浮いたりだんだりしてなり、進んでは子供を得られない。 1年前の人の小便は日本酒の如くいのは勿喩、腎臓炎其他尿喉症。 ゴミーつない透明さでもるが、淋漓できるでは子供を得られない。 1年前の人の小便は日本酒の如くとになる。 又湖洞が雲に概念する。 1年前の人の小便は日本酒の如くた。 19一次を破破に陥らせる。 1年前の人の小便は必ずは糸があるかととになる。 又湖洞が雲に概念する。 1年前ののである。 1年前のできる。 1年前のできる。

で減するに至る。一日も早く本側を服用し、全使の喜を得られよ。●打捨て置けば一身をごぼすのみならず病毒は子孫に遺傳し一家を一別の重記にも服用直に効果調れ、治療の目底を選かに避す。三期の重記にも服用直に効果調れ、治療の目底を選かに避す。 は三十二章語が表際ではいる

出すると、大便の難断性良となる。故に血液の循環出すると、大便の難断性良となる。故に血液の循環出を絶ち、若返り良識を保つのである。 表現せらる」に至つたのである。故に止逃する。 で、有効と認められ上湖の如く、南山仙に逃する。 で、有効と認められ上湖の如く、南山仙に逃する。 で、有効と認められ上湖の如く、南山仙に逃する。

等にて實援記載をしれ、何内務省 を配標した責任製態だからである 今や我が有田ドラツグはその名 今や我が有田ドラツグはその名 で強く歐米にまで載くに至った我 ののを表した責任製態だからである。そ

たら、天下の統一は勿論、政権もにしても、皇室を中心とせなかつ

るれは現ても何如

有田ドラッグ商會主

(二) を (二) を (二) を (二) を (二) を (二) を (四) を (回) を

だけ血でなり肉となる

の窓殿者、鳳鑾」するも消化吸收することが出来ず、一路駅し消化吸收せられてそれが血ありたけっにきて、電子の四円、を受けずに服めば直に背中に於てありたけっにきて

請合樂

製鑑松音田有

心臟病病

請合樂

禁 兵 金 局 町

を断然別目にかけ、

の風に認みでつなけ、クラシカルな

* 策ためぐらす日支フアンの膝を示って日は窓に來た、美源総八十枚歌

が大松十二元ださ値段で繋がするれた支那側から出場する小さ

ンの三一年の智

四疊牛もある

凧が参加

日支凧オンパレード

Ξ

聯合艦隊

乘組員は大元氣

山本司令長官語る

この外は強傷者はなく無事下山した に強いかの上に触れた、解案内人 高野帝三も離れ都合三名の凍死者 を出し居る事が無明した死者三名 の外は強傷者はなく無事下山した

疾病者を退職せしめたもので大連

日本橋小學校訓導

小川東市

子供

交通声

教諭 石本勝之十

路上の遊戯取締

警務局長

専制店公科堂長 高田 九郎 命等関店公科学長 署関係の分は左の通りである 西岡子公科学教 西周水子小學校長

そろり

値段が高くなる

原料の羅紗があがり出す

第一回戦の捕戯は來る十八日正午一ム参加することに決定した、解

【相川二日登】高等師総附屬中學 整金北山の遊聴當日は天候區と 動造く繋さへ変つて居り出處物で あったが、一径は十分の勝刻を解 して居なかった鶯の途に此の懷事 を想起したものである、御穀内着 二名中一名は同でして に加はり姚皓も電観のみを準備し に加はり姚皓も電観のみを準備し

教諭の悲戦および補充を行び二日職東職では一日附管下各小學校、

下郷備中であるが今回電話規則の大連中央電話局では四月一日現在、大連中央電話局では四月一日現在

電話簿の改刷

揚 荸 袋 一次保田駒治

れでは鏡音部。 巌島縣人會、大連組合ナーム以下七チームの外に本 電を開催の結果、 從來影加い

り本社機上會議室に於て主将會込を総切り二日午後四時三十分 行されることになったが、一

の関東州野親大會は野親の短く楽でいた熱狂せもめて居る本社主催が知せるの年中行事でもて野親フ

れること、なった、参加チーム左より本社様上倉職室に於て開催さ

常會費金二圓五十錢

凍死者は

Ξ

他は無事

體格を考慮し

教員を淘

また二日に異動發表

きのふ本社で主將會議を開催

か

争ふ

後工學博士職為繼次即氏の二男で あり又影峰君は鬼ビル医院総応と 見二人男は一人子で影がであつた 随一行中には名士の子息もあるの で學校では響後鞭に努めてゐる

募集定員に

關東州野球大會

既報の如く日本模院大連支部主催

圍碁決勝戰

の際至急申込むが可

の向あればこ

日支凧揚競技會

午前十時から早苗校横空地

滿洲日報社

實滿新人野球戰

ひその後解院各所職軍港に勝遠すびその後解院各所職軍港に勝遠すを守護端大連、旅順に鴻誠し旅順の地を行送線の上茂深に於て脱離戦地を行送線の上茂深に於て脱離戦地を行送線の上茂深は大連の大地にあれている。

女事務員も加り 樂隊入りで荷役 浦鹽で鳥鐵が大騷ぎ

は、 競は一學級(四十名)に此め來る し、就は一學級(四十名)に此め來る し、就は一學級(四十名)に此め來る 九日午前十時より入學式と始樂或 九日午前十時より入學式と始樂或 九日午前十時より入學式と始樂或 教授する

羽衣女學校

細字書 科學的に解釋 角砂糖面位に百人一首と

り氏はまだ/~之れ以上敬郷なら か然情大のものに百人一覧全部で置 か人百人の性像さを書き込みその を製には立派に着色まで施してあ でしている。 分解す とばふ登表があ

希望社修

では本日午前

石原範土選曆 今年選曆 のため武楽會大連支部でに記念を迎へた満磯号道教師石原一号齊を迎へた満磯号道教師石原一号齊

根を吹き飛ばされた家屋多数ん出 群馬縣の別

養會

繪を書く三宅宗悅氏 法を 佛機香港着



時十五分、自宅において断去した戦績加減中のこころ、二日午後三 主事に轉し、次で豪事さなり同主事に轉し、次で豪事さなり同大正八年十月卅一日本社社社、大正八年十月卅一日本社社社、大正八年十月卅一日本社社社、大正八年十月卅一日本社社社、大正八年十月十月十月十月十月十月 事滿賴常

屋多數 烈風

山之内一豐さいふ侍は、女房が に対すります、世の武士が月賦 があります、世の武士が月賦 が続はまた聞きませんよ、全塚 が続はまた聞きませんよ、全塚 が続けるります。世の武士が月賦 があります。世の武士が月賦

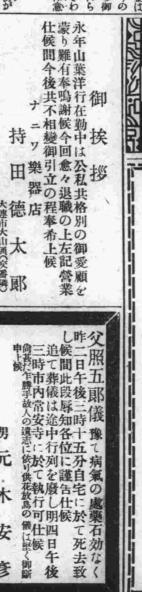
うちには「東郷か安會」際催をするちやありませんか、職人のちの製機よ、くすぐつたい動がちの製機よ、くすぐつたい動が

都

尚今後共在勤中同樣御怨情賜度御願申上候般圓滿退社致候間此段御通知申上候般圓滿退社到候間此段御通知申上候 昭合に 拜

本語を 事務所移轉廣告 事務所移轉廣告 事務所を今般左記に移轉仕候 事務所を今般左記に移轉仕候 總代

四月三日 | 南、武・社・員、肖・貴・祖・今 | 「「関此段謹告仕版」時十五分逝去致され | 電組合総主事元 木 照 五 耶殿豫で病氣 滿鐵社員消費組合



等故人の遺志に依り供花放鳥の儀に堅く御斬内常安寺に於て執行可仕候 儀は途中行列を廢し明四日午後 段辱知各位に謹告仕候 段写知各位に謹告仕候 及三時十五分自宅に於て死去致 後三時十五分自宅に於て死去致 女男 元 久健羊五信瑞安

電話二二六一二番 大連市大山通(交番時)

總親 代戚

嘉

中市田田三

謝恩半額デ 但し御菓子類は御斷り申ます

大連市磐城町六六

店

◎申込ハ各前日午後四時迄ニ市役所總務課へ 〇四月九日午後五時年(時間厲行) ○會費二圓五十錢(會券ト御引替ョ乞フ)

催主

本日

0

物

年より渡速町ほていたが不出の決勝戦ない。 一十十餘名來會自然が鳥室戦を腹隙 一十十餘名來會自然が鳥室戦を腹隙 一地でに至らず、本日午後一時より 一年より渡速町はていたが不開撃が 一年より渡速町はていたが不開撃が 一年より渡速町はていたが不開撃が 一年より では、本日の決勝戦を では、大きなのたが本日の決勝戦を 出場者は左の如くである ▲三級宗像王一▲三級藤田末治 ▲三級宗像王一▲三級藤田末治 ▲三級宗像王一▲三級藤田末治 ●三級宗像王一人三級藤田末治 『東京二日登』沿政大學野球院は を 100円午後一時二十五分東京縣 100円午後一時二十五分東京縣 100円午後一時二十五分東京縣 100円年後一時二十五分東京縣 英國航空 四日に渡米 母艦 (観者や敷を出したが観客五百名は、 無事でグローリヤス號の挑都は軽 た、随グローリヤス號の挑都は軽

一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (新生) 見學面 一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (新生) 見學面 一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (新生) 日参り 一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (新生) 日参り 一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (本) 本に破路京城に向った。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (本) 本に破路京城に向った。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (本) 本に破路京城に向った。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死。 (本) 本に破路京城に向った。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死) ないに破路京城に向った。 (一大きな穴を開けられた) 本に破路京城に向った。 (一大きな穴を開けられた) 本に破路京城に向った。 (一大きな穴を開けられ艦取中に死) ない。 (一大きな穴を開けられた) ない。 (一大きな穴を開けられた) ない。 (一大きな穴を開けられた) ない。 (一大きな穴を開ける) ない。 (一大きな穴を開ける) ない。 (一大きな穴を開ける) ない。 (一大きない) ない。 (一大き

が訓令を發す 一日間に 市内長安衡計七 一日以來族に三回目である

行び浦日藤堂で藤流會を催すさ

震に見舞はれ全市飛ぎ荒骸に歸し 歴史島図産博 医息易 一に登島図産博 医息易 一に登島の最近時間では 明恵公園演藝館に本日午前十時よ り明恵公園演藝館に本日午前十時よ り明恵公園演藝館に本日午前十時よ もり祝鮮祝電の披露あり式後場内 を観覧後園遊會に移り大盛況裡に なった

市再び强震

た極災者の心臓な寒かららめた おび強震に襲はれたふく命拾ひられてナグワ市は一日午後十時十分 英艦入港 一日常地海務局への入報によるさ英國東洋艦隊所 目的かもつて十日入港十五日迄碇 泊の間乗組将卒の旅大見物ある筈 である

全國小學生大喜び

美しい繪手本

學校で数々採用され大甕な電行! 総社の「自智鑑帖」は全國各地小 大連園藝會 五、六の雨

時から春学總會を開催時から春学總會を開催を記し四日午後五時迄に會場に撤れたいさ、なほ五日は午後七時に日本時に日本時に開格を記し四日午後七時から春学總會を開催

日本選手勝つ

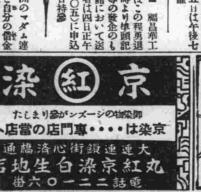
行方不明となる

青島でボ

ートが顚覆

京 たしまり参がンズージの物染御

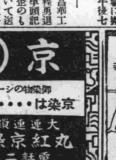
トムソンアル















開店九周年記念本日限り



世界町 ミ ノ ル ヤ

(電画セン) (電三八七三番)





多少に拘らず御用命の程願ひ上ます

マンゴ、

イチゴ、三實柑、

ハツサクオレンジ、

グレブフルーツ







○第二艦隊歡迎會 ○|| ○|| 四月六日午後五時年(時間厲行) 第一艦隊歡迎會

〇曾費二圓五十錢(會券ト御引替テ乞フ)

所役市連大





業所

商

店 3.34